



プレスリリース

アトラシアン、DevOps の効果測定を支援する Jira Software Cloud の新機能を発表

開発のアイデアから運用までの進捗を視覚化し、企業のデータインサイトの向上を目指す

【2020年12月4日】チーム・コラボレーションと生産性向上を支援するソフトウェア企業のアトラシアン（NASDAQ: TEAM）は、アトラシアン製品のみならず、サードパーティー製品も含めて開発のアイデアから運用までの進捗を視覚化し、DevOps の効果測定を支援する Jira Software Cloud の新機能を発表しましたことをお知らせいたします。

DevOps プラクティスが、チームがより早くサービスを提供することや、より良いコードを提供するために役立っているかどうかを理解することは、そのプラクティスが最終的に企業のビジネスに利益をもたらしているかを知る上で重要なことです。アトラシアンが実施した『2020 DevOps トレンド調査』によると、多くのチームが DevOps の実践を通してポジティブな影響があったと回答しているものの、組織のプロセスをどのように測定し、改善すべきか分かっていないチームが大半を占めていることが分かりました。企業はたくさんのデータを保持しているものの、ビジネスへ貢献できる知見、つまりインサイトを得ることに苦戦を強いられています。

一見、バラバラのツールを統合することで情報をコントロールできると捉えられがちですが、実際は統合方法によってその実現の可否が問われます。現在、アジャイルなソフトウェアチームが必要とするすべての製品を提供するベンダーはなく、点と点を結ぶ作業は各チームに委ねられています。

Jira Software は、モダンソフトウェア開発ツールチェーンの屋台骨として開発者は必要なツールを差し込むことができ、マネージメント層やプロダクトチームは必要な情報の可視化とレポートを取得することができます。アイデア、コミット、ブランチまたはバグフィックスかに関わらず、アトラシアンとサードパーティーのツールにまたがる作業は Jira のチケットにリンクし、トップレベルの可視性とインサイトまで辿ることが可能です。Google スプレッドシートを使うビジネスアナリスト、Figma を使うデザイナー、VS Code を使うデベロッパー、GitLab を使うエンジニアリングマネージャーなど、どのような立場の人であっても手動による調整なしに、ツールを選ばず作業することができます。

Jira Software Cloud の新機能は以下となります。

- **Code in Jira** : Bitbucket、GitHub、GitLab または Git Integration for Jira を通して最近アクティブであったレポジトリを容易に確認することができるビューが提供されるため、どのチームがどのレポジトリにあるどのコードで作業をしているか等、確認のためにコーディング作業を邪魔されることがなくなります。
- **Deployments in Jira** : Jira の課題に対応してタイムライン上で Git パイプラインを追跡・表示することで、デプロイメントがパイプラインのどの段階にあるか、リアルタイムのビューを提供します。あらゆる CI/CD プロバイダーに対応し、アトラシアン製品とサードパーティーツール間のあらゆる作業項目が Jira の課題にリンクされるため、アイデアから運用まで追跡・測定することができます。



- **デプロイメント頻度** : Jira Software Premium のユーザーに対して、パフォーマンスの高いソフトウェアチームが最も気に掛ける指標を拡張し、あらゆる CI/CD プロバイダーに対してパフォーマンスをトラッキングできるようにしました。リリース頻度と時間の経過による傾向を自動的に計測するため、複数のツールにまたがる集計を手作業で行ったり、運用チームに確認したりする必要がなくなります。
- **サイクルタイム** : Jira Software Premium のユーザーに対して、アトlassian製品とサードパーティーツールにまたがる全ての作業項目が Jira の課題に結びついているため、単に平均リードタイムを計測するだけでなく、開発ワークフローの各区分までのより詳細なビューまでトラッキングすることができます。ボトルネックに関する詳細なアクション可能なインサイトを得て、チームのワークフローを最適化できます。

Jira は、自社製品とサードパーティーツール（DevOps Marketplace では 1,400 以上のツールを提供）を通じた自動化によって開発、運用およびビジネスチームを連携し、コードに集中することを可能にします。統合されたデータモデルを通してアトlassianは、マルチツールな世界全体でデータを把握する複雑さを処理し、断片化されていたツールチェーンのコントロールと可視性を高めます。興味のあるツールがあっても [Atlassian Marketplace](#) に掲載されていない場合は、[Atlassian Connect](#) を使ってオープン REST API にアクセスできます。真のトランスフォーメーションは、一度の大きな変化ではなく、小さな積み重ねによって実現されるものです。そのためアトlassianでは、ユーザーの皆さまの DevOps プラクティスが将来にわたって有効に機能するよう、支援してまいります。

Jira Software Cloud の新機能に関する詳しい内容は、[アトlassianブログ](#)をご参照ください。

###

アトlassianについて

2002 年豪州シドニーで創業。あらゆるチームの可能性を解き放つことを企業のミッションとし、チームによる作業の整理、議論、完遂を支援するコラボレーションソフトウェア開発を手掛けています。アトlassianの顧客はゼネラルモーターズ、ウォールマートラボ、バンク・オブ・アメリカ・メリルリンチ、リフト、スポティファイ、NASA など 17 万 4000 社を超えています。顧客企業はプロジェクト管理、コンテンツ作成・共有やサービス管理ツールを利用することでチーム・コラボレーションを実現し、期限内に質の高いサービスや製品を提供することができます。主要製品はソフトウェア開発チーム向けのオンプレミスおよび SaaS プロダクトで、Jira Software（プロジェクト管理）、Confluence（コラボレーション）、Trello（タスク管理）、Bitbucket（ソースコード管理）、Jira Service Desk（ITSM）などがあげられます。日本法人のアトlassian株式会社は 2013 年の設立以来、日本語によるお問い合わせ対応や技術サポートの提供、マーケティングなどの業務を行っています。